

# 『看護研究発表』 研修会実施報告

日時 : 令和5年2月25日(土) 8:30~12:30

対象者 : ラダーIIを目指す者

参加者数 : 21名(卒後4年目5名、部署研究8名、一般参加8名)

目標 : 看護研究の取り組み方法と実際を知り看護の創造性を養うことができる

## <講師の紹介>

畿央大学

健康科学部 成人看護学科

助教授 對中 百合 先生

畿央大学

健康科学部 理工学学科

教授 福森 貢 先生



## <内容>



今年度の看護研究発表は、新型コロナウイルス感染症拡大により開催を延期していましたが、収束の兆しが見え、一般参加人数を制限し無事開催することができました。

今回の発表演題は、部署研究4題、卒後研究3題の計7題となりました。一年を通して取り組んだ研究について、緊張しながら一生懸命に発表されていた姿が印象的でした。

質疑応答では、部署研究と卒後研究ともに活発な意見交換がなされ、今後もさらに継続して研究をしていくことができる内容の意見も聞かれました。

講師の先生方からの講評では、学会発表に向けての具体的な助言と課題をお伝え頂きました。また、一年間の取り組みに対する労いのお言葉を頂くことができ、安堵する研修生の姿をみることができました。研修生のみなさん、一年間お疲れ様でした。

これから、今年度開催される日本看護学会での発表に向けて、最後まで取り組むことができるよう精一杯サポートしていきたいと思えます。

一年間ご指導頂いた講師の先生方に、心から感謝致します。